

長野電鉄
温泉名勝
鳥瞰図
和



『長野電鉄沿線御案内
〔長野電鉄沿線・温泉名勝鳥瞰図〕』
(昭和10(1935)年2月5日)
長野電鉄株式会社発行
観光社出版部印刷



長野電鉄沿線御案内

長野電鉄沿線・温泉名勝鳥瞰図
長野電鉄 温泉名勝 鳥瞰図

文・藤本一美

text by Kazumi FUJIMOTO

長野電鉄(長電)は、大正九年設立、十一年に屋代―須坂間を開業した河東鉄道(河東)をその始まりとする。翌十二年に長野電気鉄道が設立し、権堂―須坂間を十五年に開業。同年九月三十日に両鉄道が合併し、長野電鉄株式会社(長電)に社名変更した。

ちょうどその直前の七月一日には、社内の長野電鉄沿線案内刊行会発行、沢田文精社図案(新美南果作画)印刷の「長野電車名勝案内」を刊行。合併前の両社鉄道沿線案内版となっている。

その後、絵師・吉田初三郎に作画を依頼したのは、昭和三年国鉄長野駅乗り入れ実現の翌年のこと。『吉田初三郎先生 昭和四年度月誌』(観光春秋)七号)十月の項によれば、「山の国、いでゆの国、そして雪の国信濃の踏査、仏都長野をはじめ其の東方一帯十余ヶ所の温泉めぐり山めぐり……長野電鉄の懇囑によるもの」で明らかだ。

藤本一美
首都大学東京(都立大学)非常勤講師。日本国際地図学会常任委員。鳥瞰図・展望図資料室兼山岳情報資料室主宰。
近・現代の鳥瞰図絵師の作品収集と研究に精力的に取り組んでいる。著書に「旅と風景と地図の科学II」(私家版2006年)、
最新刊に「展望の山50選 関東編」(東京新聞出版局)がある。



〔善光寺から仙寿閣へ
〔善光寺から上林温泉仙寿閣御案内〕
(昭和4(1929)年12月)
長野電鉄株式会社発行 観光社印刷

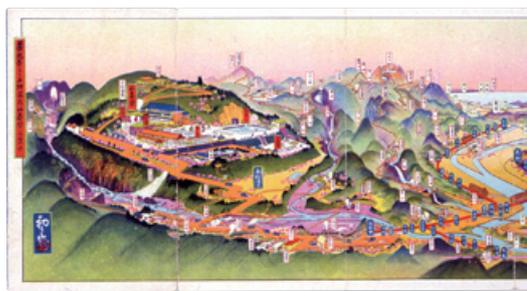


長野電鉄株式会社
Nagano Electric Railway Co., Ltd.
設立：大正9(1920)年5月30日
本社：長野県長野市権堂町2201

長野電鉄株式会社 路線図

**快適生活をサポートする
ながでんグループ**

国宝善光寺のお隣長野駅と湯田中・波温泉郷の玄関口である湯田中駅を結ぶ長野線(33.2km)、真田十万石の城下町・松代を経由する屋代線(24.4km)の2つの路線を有し、観光路線でもある長野線には平成18年より展望席を備えた特急車両1000系「ゆけむり」を走らせている。長野電鉄を中核とする「ながでんグループ」は、輸送・生活関連・不動産・観光などの各分野全15社からなる企業グループで、「快適生活サポート事業グループ」を標榜。長野県・北信地方を中心に、生活に役立つサービスの提供に取り組んでいる。



その成果は、昭和四年版(五・七年再版)「善光寺から仙寿閣へ」、昭和五年版(六・十年再版)「長野電鉄沿線温泉名所案内」などが世に出る。さらに昭和八年頃には「長野電鉄沿線内鳥瞰図原画」(絹本彩色)二点を作画し、一点が電鉄本社物で春のイメージ、もう一点が上林ホテル仙寿閣物で秋のイメージで表現した見事な作品だ。仙寿閣物は同所に常設展示されており、必見の価値がある。

さて、今回紹介の本図は、昭和十年版「長野電鉄沿線御案内」(長野電鉄沿線・温泉名勝鳥瞰図)である。善光寺のある長野と中野、小布施、須坂、松代などの中核沿線都市を結ぶ路線と電車、湯田中、渋、山田、上林、地獄谷、発喃などの温泉郷の湯煙が誘う。

長電系列の上林ホテル仙寿閣は、画面中央の丘陵上に堂々とした風格で迫る。バックグラウンドとしての志賀高原や岩菅山、噴気の草津白根山、噴煙を上げる浅間山もある。

小さいが東京のそばに富士山もしっかりと描画。また、春の桜と秋の紅葉が同時に見られる筆致は楽しい。

なお、初三郎最大のライバルだった金子常光(つねみつ)は、昭和十二年に「山は招く 長野電鉄沿線」(長野電鉄刊)の好作品を残している。

※吉田初三郎作品に詳しい並木暢二郎氏解説による。